新響名曲コンサート

芥川也寸志と弘中孝

曲　目

「ローマの謝肉祭」序曲——ベルリオーズ

ピアノ協奏曲第4番———ベートーベン

交響曲第8番————ドボルザーク

指　揮　芥川也寸志

ピアノ独奏　弘中　孝

管弦楽　新交響楽団



日時　五月十七日（金）午後七時開演

会場　杉並公会堂

主催：新交響楽団　〒160 新宿区須賀町14 大湊ビル　TEL 357−5255（月水金 午後）

——音楽監督・常任指揮者——

芥川也寸志

Yasushi Akutagawa

1925年　東京生まれ。
1949年　東京音楽学校研究科作曲部を卒業。
作曲を伊福部昭氏、指揮を渡辺暁雄氏に師事。
＜作品＞　交響三章、トリプティク、交響曲第1番、エローラ交響曲、オスティナート・シンフォニコ、オペラ「広島のオルフェ」、チェロとオーケストラのためのコンチェルト・オスティナート 他。
＜著書＞　音楽の現場、私の音楽談義、音楽を愛する人に、音楽の基礎、音楽の遊園地。

新響創立以来の常任指揮者、毎週土曜日に殆んど欠かさず新響を振るその情熱は、「アマチュアには、アマチュアらしい、プロには絶対にない素晴らしさがなければならない。スポーツの世界にも通じるような、練習に練習を重ね、ただひたすらに自分たちの音楽を追求しようとする純粋な心。これにのみ支えられた輝くアマチュアリズムがなければならない」という信念に支えられているといえましょう。現在、作曲活動のほかにヤマハ音楽振興財団の専務理事として新しい音楽教育システムづくりを企画するなど、多忙な生活を送られています。





——ピアノ独奏——

弘中　孝

Takashi Hironaka

1943年山口市に生まれる。
6才より父の指導でピアノを始め7才より東貞一氏に10才より井口愛子氏に師事する。14才全日本学生音楽コンクール中学校の部に第1位入賞。その後桐朋学園高校音楽科を経て同学園大学音楽学部に進む。1961年毎日新聞社主催の音楽コンクールピアノ部門に第1位入賞。特賞並びに初の安宅賞を受け、勉学のかたわら演奏活動を始める。この頃から井口基成氏の門にも学び愛子、基成両氏の指導を受ける。
1963年より1965年までフルブライト給費留学生の資格を得てニューヨークのジュリアード音楽院に学びサッシャ・ゴロニツキー教授のクラスに入る。在学中ジュリアード校内ソリストコンクールを受け，日本人としては2人目の優賞者となり、ジュリアードオーケストラとリストの第1協奏曲を協演する。
1968年ベルサイユ市で開かれた第1回シフラ国際ピアノコンクールに参加し1位金賞を獲得し審査委員長ジョルジュ・シフラ氏より賞賛される。
1969年以降本格的な演奏活動に入り、毎年リサイタルを開くかたわら東京都交響楽団、日本フィルハーモニーオーケストラ、東京フィルハーモニーオーケストラ、東京交響楽団と協演する。又毎年渡欧し、ソロ、及びバイオリニスト久保陽子との二重奏で西欧各地及びソ連、東欧諸国等に演奏旅行している。
1974年2月下旬～3月下旬にかけてバイオリニスト久保陽子とスペイン・ハンガリー・トルコ・スイス演奏旅行。

きょくもく　かいせつ

ベルリオーズ：「ローマの謝肉祭」序曲

フランスの作曲家ベルリオーズの「ローマの謝肉祭」は、初めはオペラ「ベンヴェヌート・チェルリーニ」における第2幕の序曲として作曲されたが、この序曲がすぐれていたために、今日では「ローマの謝肉祭」という独立した楽曲として、単独で演奏されるようになった。

管弦楽法の大家であった彼は、ある内容を音によって表現する標題音楽を確立させた。この曲においても謝肉祭の情景を、その華麗な管弦楽法で巧みに描き出しており、「幻想交響曲」と共に彼の傑作となっている。

ベートーベン：ピアノ協奏曲　第4番

1楽章：アレグロ・モデラート（ほどよく快速に）
2楽章：アンダンテ・コン・モート（歩く速さで動きを持って）
3楽章：ビバーチェ（生き生きと非常に速く）

ピアノ協奏曲第4番は、１８０５年に着手され、０７年には完成された。初演は１８０８年に作曲者自身の独奏によって行なわれている。

１８１０年前後はベートーベンの円熟期に当たり、彼はその才能を存分に発揮して、交響曲第5番「運命」、ピアノソナタ「熱情」などを次々に生み出し、従来の形式を打破していったのである。この特徴はピアノ協奏曲第4番にもみられ、冒頭から独奏ピアノが出ているし、2楽章は休みなく3楽章に続けられている。この曲にはピアノ協奏曲第3番、第5番「皇帝」のような威厳はないが、静かで叙情的であり、特に2楽章における弦楽器と哀しげなピアノとの対話は深く心に残るものがある。

ドボルザーク：交響曲　第8番

1楽章：アレグロ・コン・ブリオ（生き生きと速く）
2楽章：アダージョ（静かにおそく）
3楽章：アレグレット・グラツィオーソ（やゝ速く優美に）
4楽章：アレグロ・マ・ノン・トロッポ（速く、しかし余りはなはだしくなく）

ボヘミアに生まれたドボルザークは、民族主義的作品を書いた国民楽派の作曲家である。

渡米前に書かれた交響曲第8番は、１８８９年に着手され、９０年には作曲者の指揮で初演が行なわれた。

この曲はドボルザークの全9曲の交響曲の中でももっとも強くボヘミア的色彩を帯びた作品であり、「家路」で知られ、激しさや哀愁を持つ第9番の交響曲「新世界より」と共に彼の代表作の1つとなった。今日では第9番の方が有名になった感があるが、最近では古典的で親しみやすいこの第8番の人気が高まっている。

（西村はるみ）

新交響楽楽（アマチュア・オーケストラ）

新交響楽団、新響は名前こそN響の前身と同じですが純然たるアマチュアのオーケストラで、名簿に見るように、サラリーマン、学生、主婦など、音楽を職業としない120名の団員から構成されています。

週1回土曜日、東京文化会館地下のリハーサル室での練習を基礎として、月々500円の団費と、演奏会の収入による独立採算で運営されています。

昭和31年創立以来の常任指揮者芥川也寸志氏の献身的指導によって、現在日本で望み得る最高レベルのアマチュアオーケストラとされており、42年秋の訪ソ旅行、44年秋の沖縄九州旅行という華やかな活動がある反面、週1回2時間半の練習、実質的には何の拘束もない任意団体であるという絶対的な制約をうけているため、累積赤字をかかえて常に解散の危機に瀕しているといっても過言ではないでしょう。

新響を存続させるものは、一緒にアンサンブルを創るという一点にしかありません。2～3回の練習で演奏会をもつというプロのオーケストラにはできないような、すみずみまで奏きこんだ演奏をモットーとし、毎週の練習自体をも一つの目的とする緊張と充実が団員の共通の目標となっています。

新響のもう一つの目的は、オーケストラを団員の自己満足としてでなく、できるだけ沢山の人に聴いてもらいたいという演奏団体としての活動です。一昨年から新たに若手指揮者のホープ小林研一郎氏を指揮者として正式にお迎えし、芥川先生とタクトを分担して頂くことにより、外部からの依頼にも応じられる演奏団体としての体制をととのえつつあります。

最近の主な演奏会

1973年

8月18日　サマーコンサート　　東京文化会館大ホール
交響曲第6番「田園」＝ベートーヴェン、ピーターと狼＝プロコフィエフ（語り手：浪花千栄子）、パリのアメリア人＝ガーシュウイン

11月5日　第26回定期演奏会　中野・サンプラザホール
交響曲第4番「イタリア」＝メンデルスゾーン、ピアノ協奏曲第26番「戴冠式」＝モーツァルト（独奏：小栗豊）、舞踊組曲「火の鳥」＝ストラビンスキー

12月19・21日　第九特別演奏会　　サンプラザホール
“前奏曲とイゾルデの愛の死”＝ワーグナー、交響曲第9番「合唱付」＝ベートーヴェン

12月25日　第九依頼演奏会　　サンプラザホール
交響曲第9番＝ベートーヴェン（指揮：小林研一郎）

1974年

3月31日　新響とショスタコービッチ（第27回定期演奏会）東京文化会館
交響曲第35番「ハフナー」＝モーツァルト、牧神の午後への前奏曲＝ドビュッシー、交響曲第5番「ショスタコービッチ」

（指揮は特記以外　芥川也寸志）

新響サマーコンサート

日　時　8月10日（土）　午後7時開演
会　場　東京文化会館大ホール
曲　目　舞踊組曲「ガイーヌ」より……ハチャトリアン
一幕のバレーのためのカルメン組曲……シチェドリン
舞踊音楽「白鳥の湖」より……チャイコフスキー
指　揮　芥川也寸志
入場料　S：1,000円　A：800円　B：500円（全席指定）

新響第28回定期演奏会

日時・会場　12月15日（日）　午後2時　東京文化会館大ホール
曲　目　交響曲第8番……ベートーベン
弦楽のための3楽章「トリプティク」……芥川也寸志
舞踊組曲「ペトルーシュカ」……ストラビンスキー
指　揮　芥川也寸志
入場料　S：1,000円　A：800円　B：500円（全席指定）

新響・団員募集中！　（特にヴァイオリン、チェロ奏者を求む）

入団希望者に対しては原則として、月の最終日曜日の午後、オーディションを行ない、新響のレベル、パート人員の必要度、本人の環境、入団意志などを考慮して決定します。
オーディションでは、課題曲(下記)、自由曲、初見のアンサンブル曲を演奏していただきます。

【課題曲】

Vn　モーツァルト　協奏曲第5第1楽章
Vla　エックレス　ソナタ　第2楽章
Vc　ヴィヴァルディ　ソナタ第5第2楽章
Cb　カプッツイ　協奏曲　第1楽章
Fl　モーツァルト　協奏曲二長第1楽章
Ob　ヘンデル　ソナタ第1第1楽章
Cl　ウェーバー　小協奏曲　第1楽章
Fg　モーツァルト　協奏曲　第1楽章
Hr　モーツァルト　協奏曲第3第1楽章
Tp　ハイドン　協奏曲　第2楽章
Tb　R.コルサコフ　協奏曲 第1,2楽章
Tub　ワーグナー　マイスタージンガー
（楽譜のない方はコピーをお貸します）

【オーディション日程】

4月7日(日)　午後1時
4月28日(日)　午後1時
5月26日(日)　午前11時
6月30日(日)　午後1時

【問合せ先】
① 団員をご存知の方は団員を通して。
② それ以外の方は人事担当の橋谷幸男まで。
自宅332-4075，会社563-4451内292（キクナス石油営業計画課）

【申込先・オーディション場所】
〒160 新宿区須賀町14 大湊ビル　新交響楽団 TEL 357-5255
国電信濃町と地下鉄四谷三丁目の丁度中間、どちらからも徒歩6分、2つ目の信号、八百屋裏CPA学院のビル4F

新響維持会員募集中!!

音楽を愛する大勢の方々の支持のもとに演奏活動が行なわれることがこれからのオーケストラ活動のあり方と信じ、維持会員制度を発足させました。▶年額1口(1200円)以上、▶今後1年間ご案内をさしあげる2回の演奏会に自由にご入場なれます。▶定期演奏会プログラムにご芳名を掲載します。▶ご入場の方にはプログラム贈呈。▶その他新響の全ての演奏会入場券が優先的に1割引で購入できます。▶住所・氏名・年令・職業明記の上現金書留で下記迄。（維持会員申込と付記）

〒160 新宿区須賀町14大湊ビル 郵便振替口座 東京177071
新交響楽団　357-5255

新響登録会員募集中!!

▶入会金はいりません。
▶演奏会の案内を往復ハガキで毎回お送りしますので、入場券ご希望の時お申込みください。
▶プログラムを無料でさしあげます。
▶申込はハガキにて、住所(TEL)、氏名、年令、職業明記の上、下記事務所まで

(オーケストラの名曲800選)リスト頒賦中

音楽鑑賞、レコード蒐集の手引に、古今の無数の管弦楽曲の中から 800曲を選び、索引、演奏時間を付記。申込は左記事務所迄。140円(20円切手可)